

平成28年度 第2回教育改革ICT戦略大会運営委員会
議事概要

I. 日時 平成28年5月27日（金）11:00～13:00
場所 スクワール麴町

II. 出席者 向殿委員長、濱谷副委員長、竹内委員、関委員、波多野委員、服部委員、高木委員、島貫委員、友永委員、西村委員
木村アドバイザー、山崎アドバイザー
(事務局：井端事務局長、平田職員、竹苗職員)

III. 検討事項

1. 平成28年度開催要項の原案作成について

- ① 開催要項の開催テーマは、前回委員会でのプログラム方針を踏まえてアクティブ・ラーニングを中心とした教育改革を行うには、教員一人ひとりがディプロマポリシーに沿って学士力の質保証に向き合う必要があることから、「教育の質的転換に向けた内部質保証を考える」とした。
- ② 全体会のプログラムとして、10:00に「内部質保証に向けた全学的な取り組み」を横浜国立大学の梅澤先生に予定していたが、出席できないことから去年の報告VTRに関係者による補足説明を加えてプログラムを考えていたが、初日の1番目のプログラムとなっているためVTRではインパクトがないことから取りやめることにした。その代わりに安西先生に依頼している「三つのポリシー（入学選抜・カリキュラム・学位授与）省令化による内部質保証の課題」を10:00から90分として時間設定を再編成した。
- ③ 2番目は、アクティブ・ラーニングの質保証として「アクティブ・ラーニングの可視化と効果・検証の取り組み」について、共愛学園前橋国際大学副学長の後藤先生の了解が得られた。
- ④ 3番目は、アクティブ・ラーニングの効果を高めるノウハウとして「アクティブ・ラーニングの振り返りと課題」について、名古屋商科大学の亀倉先生の了解が得られた。
- ⑤ 4番目は、アクティブ・ラーニングを導入した地域連携教育として「地域と連携・地域を活用したPBL教育の導入と効果」について、信州大学の林先生の了解が得られた。
- ⑥ 5番目は、知識の創造を目指したアクティブ・ラーニングの考察として「ネット会議による分野横断型PBL教育の提案」について、昭和大学の片岡先生の了解が得られた。
- ⑦ 2日目のテーマ別意見交流のプログラムとして、分科会Aは、「ICTを活用したアクティブ・ラーニングの取り組みと課題」について、人文・社会科学系は小樽商科大学の大津先生、理工系は東海大学の及川先生、医療系は岐阜大学の丹羽先生に確定した。
- ⑧ 分科会Bは、「教育を客観的に振り返るための環境整備～IRの導入の取り組みと課題」について、筑波大学の金子先生から「質保証としてのIR導入の現状と課題」を説明いただき、その後で京都光華女子大学の水野先生から「大学に求められるIR機能の実現に向けて～IR活動展開の課題」を説明いただくことにした。
- ⑨ 分科会Cは、アクティブ・ラーニングの評価方法について、創価大学の関田先生から「ルーブリックの導入効果と課題」、摂南大学の串畑先生から「ピア評価の導入効果と課題」を説明いただくことを確定した。なお、立命館大学からの「eポートフォリオ導入効果と課題」は現在講師の確認を急いでいる。
- ⑩ 分科会Dは、「価値の創出を目指した問題発見・解決思考の情報リテラシー教育モデル」について、本協会の情報教育研究委員会の分科会から提案いただき意見交流することにした。

2.3日目発表者の確定について

86名の発表申込の内容・タイトルについて確認した結果、内容やタイトルで問題のある発表を確認し、事務局から以下の点について発表者に伝えることにした。それに伴い5件を不採択としたため発表件数が81件となり、それに基づくグループ分けと発表順序を6月3日までに服部委員に依頼した。

- * 広島工業大学から6件の申し込みがあるが、33番、34番、37番、39番、45番はタイトルも類似しているので、タイトル修正を含めて発表を3件に整理するよう連絡する
- * 4番、15番、16番、22番、28番、30番、78番、80番、85番のタイトルを再考するよう連絡する
- * 43番は、本発表は、日本語での発表に限定しているので、発表見送りを文書で通知する
- * 49番は、発表概要から見た限りでは本発表の趣旨と異なるので、発表見送りを文書で通知する
- * 67番は、ICTの具体的な活用が読み取れないので、発表見送りを文書で通知する
- * 74番は、申込内容が本発表の趣旨と異なるので、発表見送りを文書で通知する
- * 81番は、申込内容が本発表の趣旨と異なるので、発表見送りを文書で通知する
- * 86番は、ICTの具体的な活用が読み取れないので、発表見送りを文書で通知する

3.3日間の司会者の担当について

初日の司会は、前半を井端局長が担当、後半を濱谷委員が担当する。2日目の分科会は、分科会Aを竹内委員と高木委員、分科会Bを友永委員と島貫委員、分科会Cを足達委員と山崎アドバイザー、分科会Dを波多野委員と情報教育研究委員会委員が担当することにした。3日目の担当は、次回委員会で決めることにした。

4. 次回委員会について

今回は、6月14日（火）16：00からアルカディア市ヶ谷（私学会館）で開催することにした。

以上